

アコン
『Akong
タルンゴン
Tarungon!』
～がんばってます!～



ティース(左)、ジェーン(右)

愛道125号で紹介させていただいた、フィリピン出身の介護福祉士候補者のジェーン(以下J)とティース(以下T)の2人が愛全園で仲間として働き始めて1年6ヶ月が経ちました。文化の違う国に来て、日々挑戦している二人に、インタビューをしました。

日本語の勉強は
いかがですか？

J：教科書は読めても理解

ができません。脳で文法がわかりませんが、言葉だけわかりますが、文法になるとわかりません。意味が入ってこないです。意味は英語に訳してから日本語にします。だから時間がかかります。

T：仕事の時間に私たちは

午後から2時間勉強します。仕事が終わった後も、1〜2時間日本語の勉強をしています。本を読んで言葉を繰り返して覚えます。

コミュニケーションで
大変と感じている
ことは？

J：日本語は難しいです。自

分の中にいっぱいアイディアがあるけど言葉が出

一度お願いします。ゆっくり話して下さい」と言います。「お願いします」は必ず言います。

日本の介護に
携わってどうですか？

J：フィリピンで介護の仕事

をしました。病院でシフト交換、患者さんの身体を支えることをしました。でも専門的じゃありません。日本の介護の仕事は基本の本もあるし身体の仕組みや病気のこと勉強します。

T：介助は利用者の方の思

いもあり、何度も何度も説明しなければいけないけど介助した後に「ありがとう」と言ってもらえると、とてもうれしいです。利用者の方の気持ちになつて介助することを学びました。



2人で協力して勉強中

T：新しい言葉を理解する

のに時間がかかります。同じ意味合いでも、人によって言い方や発音が違うため理解できません。他の職員は知らない言葉を使います。「もう

ませんでした。いろんな人とおしゃべりしても私たち勉強になります。でも話すことは難しいです。早い言葉で言われてもわからないけどジェスチャーやゆっくりな言葉でわかります。



視線をあわせて話すティース

〈愛全園内職員にインタビュー〉

Q、二人に仕事内容を教えるとき、伝え方の工夫はありますか。

できるだけ難しい言葉・長い言葉は使わず、ゆっくり表情を見ながらわかりやすい言葉で伝えます。伝えた後に必ず理解しているかの確認を行います。

言葉だけで教えるのではなく身振り手振りを入れて伝え、自分が実際にしてみせます。

Q、二人を受け入れるときどう思い、また受け入れてから実際どうでしたか。

フィリピン人とか日本人とかではなく、ひとりの介護士であることを知ってほしいです。

言葉だけでなく文化や習慣が異なり馴染んでもらえるか不安な面がありました。目を重ねることにその不安は小さくなり初心を思い出す良い機会にもなっています。

二人とも笑顔で
あいさつも素敵だね。
頼もしく見えて
活躍は期待大ですね。
(利用者Yさん)



おいしいですか？

教育専任者からメッセージ

ふじはら ゆきより
【藤原 行順】

二人の目指す介護福祉士国家試験は、すべて日本語での問題を解くことになります。難解な日本語の文法に加え、専門用語を理解するのは、私たちの想像を超える困難に立ち向かっているのではないかと思います。生活・仕事が充実し、二人が自らの目的を果たし、ずっと共に働けるよう、愛全園の仲間として応援しています。

せりかわ みちよ
【糴川 美智代】

二人が日本に来た第一の目的「夢」である「介護福祉士国家試験合格!」に向けて、Do your best!寒い冬の後には暖かい春です。日本では「Dreams come true」=「桜咲く」と言います。満開の桜になるよう頑張りましょう。